

耳元でかわいくイキ狂ってくれる 小悪魔後輩ちゃん【密着潮吹き】♡

トラック1…小悪魔後輩ちゃん

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

お邪魔します。

【位置…次のセリフ、正面30センチへ移動しながら】

お。どもです先輩。

いやあ。突然呼び出されてびっくりしましたよお。

いえいえ。

美術部は今日お休みですし、特に予定はありませんので、大丈夫ですよ。

むしろ退屈していたところで、

呼び出されて嬉しかったです。ふふふっ。

それで。先輩。

私に何か、御用ですか？

わざわざ放課後の教室に呼び出したってことは、口頭で伝えたいこと…。なんですかね？

……ふふっ。

おやおやあ？

どうしましたあ先輩。目え泳がせて黙っちゃって。言いにくいことなんですか？

じゃあ…、アレです。

私が応援してあげますよ。

【位置：「ほーら」の後の三行。ゆっくり左右に揺れながら】

ほーら。

頑張れ頑張れ。せーんぱい。

何の用かは知りませんがどお。

とりあえず頑張れ〜。ふふふっ。

ん？

ええ。彼氏はいませんよ。

私、今まで一度も、恋人を作ったことはありません。

……。

ふーん。へー。

そうですかぁ。先輩は私のこと好きなんですかぁ。

それで？ どうしたいんです？

ふむふむ。

「お付き合いしたいよう〜」と。

なるほど…。

んー…。

そうですねえ…。なんてお返事しましょうか。

【位置：次のセリフで正面5センチへ移動】

まあとりあえず…

【舌は入れない軽めのキス10秒】

こんなお返事で、いかがでしょう。

【位置：正面30センチ】

あははっ。そんなに驚かなくても。
告白にキスでお返事するのって、
漫画とかじゃ定番じゃないですか。

ええ。オッケーですよお。

私も先輩のことは悪しからず思ってますし、
お付き合いしちやいましょう。

かわいい後輩、小羽根柚子（こばね ゆず）ちゃんのこと、
これからよろしく願いますね。せーんぱい。ふふふっ。

トラック2…えっち導入

【位置：正面30センチ】

じゃあ早速ですけどお先輩。

今からここで、エッチな事しませんか？

いや。きよとんとししないで下さいよう。

エッチな事です。エッチな事。

私、結構好奇心旺盛な女の子です。

付き合った以上は性的なことも、さっさとしちゃいたいんです。

ん？

そうですね。ここは学校ですねえ。

それがどうかしました？

ふーん…。なるほど。

好きな女の子から誘われたのに、そーいう事言うんですね。
へえ………。

じゃあ先輩。五秒間だけ、待ってあげます。

その間に今の発言を撤回して、

「私とエッチするゝ」って、言ってください。

もし言ってくれなかった場合は………ふふっ。

先輩のとなってえ、最悪の結果が訪れるかも。しれませんね。

ええ。最悪の。

例えば…。

せっかく付き合えたかわいい後輩ちゃんと、即絶交、みたいな？
そんな結果じゃないでしょうか。あははっ。

じゃあ先輩。数えますよ。
はい待ちません五秒前々。
ごーお。

…って。即答ですか。
そんな焦った様子で…。

【位置…次のセリフで正面5センチへ近づきながら】

ふふん。そうですね。
かわいい後輩ちゃんとせっかく付き合えたのに、
即刻フられるとか惨めすぎますもんねえ。
判断早くてえらいですよ。よしよし。あはは。

じゃあしましょうかね。エッチな事。
とりあえず、そこに座って下さい。
私が脱がせてあげますよ。先輩。

トラック3…リップクリーム手コキ

【位置…正面15センチ】

ん……。ふう……。

下着も、おろして…。

SE:脱衣音

【位置…正面斜め右耳側15センチ】

おー…。これが先輩のおちんちんですか。

ふふっ。しっかり勃起してます。

かわいい後輩に誘われて、

先輩もなんだかんだ、発情してるんですねえ。

っんっん。ペシペシ。

っんっんっん…。

あはっ。ぴくぴく反応して、面白いです。

ついでに一枚撮っちゃいますね〜。

SE:シャッター音

えー。いいじゃないですかあ。

資料ですよ、資料。

美術部として、げーじゅつ的なこのおちんちんを、
カメラに収めたかったんです。

【位置：次のセリフ、正面15センチへ移動しながら】

ほら先輩。そんな事より。

今から私の手で、おちんちん扱いてあげますから、
その快感に集中してください。

行きますよう？

女の子の柔らかい手で、
おちんちん、ぎゅっ…って握って。

SE：手コキスタート

すう……。ふう……。

すう……。ふう……。 （呼吸音2回）

どうですう先輩？

こうやってえ、

可愛い後輩ちゃんに「じー…」って、

上目遣いにお顔を見つめられながら、

おちんちん丁寧にしこしこされるの。気持ちいいですか？

しこしこ。じー…。

しこしこ。じー……。

あははっ。お顔そらして。かわいいですねえ全く。

【位置：次のセリフで正面5センチへ近づく】

でもダメですよ先輩。

キスしにくいので、こっち向いてください。

先輩も大好きな後輩ちゃんと、ちゅっちゅっしたいでしょ？
ほら。ちゅーっ…。

【深めのキス20秒】

ふふっ。舌を絡めたディープなキス、してみました。

おやおや先輩。お顔がすごく緩んでいますねえ。

おちんちんシコシコとベロチューで、女の子いっぱい感じて、
頭の中とろけちゃいました？

じゃあですねえ。

そんな先輩に一つ、カミングアウトをしてもいいでしょうか？

【次のセリフで右耳側0センチへ移動】

ええ。私の秘密、教えてあげます。

【ここから囁き（無声音）】

えっとですね。

私、実をいうと滅茶苦茶、性癖が歪んでるんですよ。

そう。

多分先輩が想像してる、何倍もヤバイレベルの、
異常性癖者なんです。私は。

だからね先輩。

正直言っと今私、あんまり楽しめてなかったりします。

こんな普通の手コキじゃなく、
もっと倒錯的なプレイじゃないと、私は楽しめなくて。

…なので、先輩。
お願いして良いですか？

倒錯的でヤバい手コキ。させてください。
私の性癖に、付き合って頂けないでしょうか。先輩。

【囁き終了】

【位置…右耳側5センチ】

いいんですか？
あははっ。やった。

【位置…次のセリフ、正面斜め右耳側15センチへ移動しながら】

じゃあ、ちょっと待っててくださいね。
確かポケットに……。あ、ありました。

見てください先輩。これ、何か分りますか？

ええ。リップクリーム。
可愛いデザインで、いい香りがするやつです。
ちょっと一回、私の唇に塗ってみますね。

ん……。んー……。んっ。(リップを塗る)
…よし。

どうですう先輩。
唇に光沢が出て、少しエッチになったでしょう？
こういう些細な変化でも、
人に与える印象って、結構変わるものですよ。

まあでも別に、これは唇に塗るために取り出した訳じゃ無いんです。やりたいのは、これを使ったプレイ。

今から先輩おちんちに、リップクリームを塗りながら手コキするために、取り出したんですよ。ふふふっ。

…うわ、ビミョーな顔しますねえ先輩。

そんな、「よくわからないこと言い出したぞコイツ。」みたいな目で見ないでくださいよお。

大丈夫です。

先輩にとっても、なんだかんだ楽しいプレイになるはずですから。というか、ヤバイ手コキしてもいいって言う許可、ちゃんと取ったんですから。しっかり付き合ってもらいますよ。先輩。ふふふっ。

【位置…次のセリフで右耳側のセンチへ移動】

さあ。まずは手コキを、再開しますね。

【ここから囁き】

ほーら。女の子の柔らかくっおてて。気持ちいいですねえ。

しこしこ。しこしこ。

それで、先輩。

今からおちんちに、リップクリームを塗っていく訳ですが…。

その前にひとつ。

先輩には、「このリップが私の私物である」っていうことを、
しっかり認識して欲しいんです。

ええ、その方が絶対、気持ち良くなれますから。ふふっ。

と言うわけでえ、先輩。

想像してみてください。

日常の中でこのリップを唇を塗っている、私の姿。

さっき先輩の目の前で試してみたいに、

学校や自分の部屋、外出先なんかで、

このリップが私の唇にあてがわれる、その光景を。

どうです？ 想像できました？

想像すると、このリップクリームをおちんちに塗る行為が、
とってもえっちな事に感じませんか？

私の私物であり、唇に何度も何度も塗られたもの。

そんなモノをおちんちにぬりぬりするの、

実質私の唇が、「ちゅっ。ちゅっ。」って、

先輩おちんちにキスするのと同じこと……。

そう思いませんか？ ふふっ。

では、良い感じに妄想も膨らんだところで。

もう塗っちゃいますよ。

しこしこされてる先輩おちんちんの先っぽと、

私の唇が、キスしちゃいます。

さーん。

にーい。

いち。

はい。

ぬりぬり。ぬりぬり。

ちゅっ、ちゅっ。ぬりぬり。

あはは。おちんちんビクビクしてますねえ。

おちんちんと私の唇がキスしてるっていう想像で、

高揚感、興奮しまか？

それとも、単純に亀さんへの刺激が、気持ちいいでしょうか。

ふふふっ。

んー？ なんですか？

あー…。スースーするのは、メンソールと言われる成分のせいですね。ミントと同じ成分が、このリップには含まれてるんですよ。

でも別に、悪い感じではないでしょう？ 先輩。

空気に触れるだけで亀頭がジンジンと刺激されて、

むしろ気持ち良いはずですよ。

ええ。楽しんでくださいね。ふふふっ。

ところで先輩。

このリップクリームなんですけど。

このプレイが終わった後も、私普通に使うつもりですから、ちゃんとそういうのも意識しながら、

おちんちん気持ちよくなってくださいね。

ええ、もちろんですよ。

リップクリーム、

これだけおちんちに塗っていても全然減りませんし、使い切らずに捨てるのは、もったいないですからね。

ちゃんと今後も、私の唇の保湿のために、使わせてもらいます。

ほら、想像していいんですよ先輩。
ぬりぬりぬりぬりって、

丹念におちんちんと擦れあってる、このリップクリーム。
これを私が、使う姿。

私きっと、

このリップを使うたびに、今日のことを思い出すんでしょうねえ。

「あー。このリップ、先輩のおちんちに塗ったなう。」って思いながら、
それを自身の唇にぬりこんで……。

そうやって、リップがなくなるまで私はずーっと、

先輩おちんちんと定期的に間接キスし続ける訳です。

どうです？ 考えただけで、興奮しませんか？

先輩おちんちんがこれから先、私の唇を奪い続ける現実。

背徳的で、おちんちんのビクビク、止まりませんよねえ。ふふふっ

【囁き終了】

【位置：次のセリフで正面5センチへ移動】

じゃあ…。またキス、してあげますね。

おちんちんでも、お口でも、私の唇奪いまくって下さい。

先輩……。

【深めのキス20秒】

さて、先輩。

それじゃあそろそろ、このプレイの本番。

倒錯的な手コキ。と、私が称した部分に、入って行きましょうか。

ええ。そうですよ。

今までは余興で、ここからが本番です。
何驚いてるんですかねえ。この先輩は。

今から、最高に楽しくなりますから。
とりあえず私の言葉を、聴いてください。

【位置：右耳側のセンチ】

【ここから囁き（無声音）】

えっとですねえ先輩。

実はこのリップクリーム、私のモノじゃないんですね。

聞こえませんでした？

「このリップは私のモノじゃ無い」って、そう言ったんです。
さっきまで私は、嘘をついていた。という事ですネ。

「じゃあ誰のなのモノなのか」、と言う話になるんですが。
先輩も知ってる人ですよ。

先輩のクラスで一番かわいい女の子。
ゆるふわ〜とした雰囲気、胸も大きくて、
彼女になったら沢山甘やかしてくれそう、あの人。

そう。

このリップクリームは、
紗季（さき）先輩のモノです。
いえ、先輩にとってはクラスメイトですから、
「紗季」さんって、呼ぶべきでしょうか。

実は私、紗季さんとは一緒に登下校する仲でしてね。

「最近唇乾燥してるんです」、って言ったら、貸してくれました。良い人ですよ。ホント。

まあつまり先輩は、クラスメイトの女の子のリップクリームを、無断でおちんちにぬりぬりしてるって事ですね。

ぬりぬり、ぬりぬり。

クラスメイトの女の子のリップを、ぬりぬり。

いや。嘘なわけじゃないですかあ。

私言いましたよ。「先輩の想像の、何倍もヤバイ性癖を持ってる」って。自分のリップを塗って満足するほど、ノーマルじゃないんです。私。

で、ですよ。先輩。

私あした、このリップクリームを、紗季さんに返す予定なんですよね。もちろん先輩おちんちにいっぱいぬりぬりしたことは内緒で、シレっとお返しする予定です。

そうしたら……。最高に楽しいことになりますねえ、先輩。

あなたのクラスメイトの女の子。

それも超かわいくて巨乳な、あの紗季さんが、リップクリームを使うたび、

先輩おちんちんと間接キスをするようになるわけです。

ほら。これもちゃんと、想像してくださいね。

何も知らない紗季さんが、自身の唇にリップクリームを塗る姿…いえ、もっと的確な表現をしましょう。

可愛くて巨乳クラスメイトが、

何も知らずに先輩のおちんちんをぬりぬりって、自分の唇に塗る姿。それを想像するんです。

どうですう？

クラスメイト紗季さんの唇を、

自分のおちんちんで穢す気分は。

私がリップを返せば、ほぼ確実に起こる未来ですよ。

ゾクゾクするでしょう？

ちなみに紗季さん、彼氏できたこと無いらしいのでえ、

紗季さんのファーストキスは、

先輩のおちんちんと言うことになりますね。

まあ、間接キスですし？

ノーカンと言うことにしてあげましょう。あははっ…。

んー？ なんですか？

ダメじゃないですよお。

大丈夫。バレやしませんから。

それとも今先輩が、無理やりこのリップを私から取り上げて、
紗季さんへと返せないようにしますかあ？

別にいいですよお？ それでも。

その場合はもう、私と先輩はお別れすることになるでしょうけどお。
それでよければ、取り上げてください。

…あははっ。黙っちゃって。

ここまでやバい女だと知っても、別れたくはないんですねえ。
ホントに私のこと大好きじゃないですかあ、先輩。

それとも、結局先輩もこういうプレイが、
大好きってことなんでしょうか？

おちんちん、今までで一番固くなってますもんねえ。あははっ。

じゃあ先輩。

せっかくですから一度、竿をシゴくのはやめて、
亀さん以外のところにも、リップクリームを塗っていきましようか。
紗季さんに、先輩おちんちん全体と、
しっかり間接キスして貰いたいですからね。

はーい。じゃあまず、竿をぬりますね。

ぬりぬり。ぬりぬり。

ぬりぬり。ぬりぬり。

ほら。紗季さんの唇と、おちんちんの竿が間接キスしてますよ。
こうやって塗っていくのは、
さながらハーモニカフェラと言ったところでしょうかねえ。ふふふ。

ぬりぬり、ぬりぬり。

クラスメイトの唇で、ぬりぬりちゅっちゅっ。

はい。次はたまたまに塗りますね。

二つの大切な鞆丸も、

紗季さんにいっぱいちゅっちゅっしてもらいましょう。

ぬりぬり。ぬりぬり。

ぬりぬり。ぬりぬり。

紗季さんの唇にい、金玉を押し付けてえ…。

ちゅっ。ちゅっ。ちゅっ。ちゅっ。

ぬりぬり。ぬりぬり。

さて。最後はカリ首ですね。

ここもしっかり、なぞって行きましょう。

ぬりぬり、ぬりぬり。

ぬりぬり。ぬちゅぬちゅ。

ふふっ。ちよっとここは、敏感なんですね。

おちんちんビクビクしてます。

でも、どれだけ敏感なところでも、しっかり塗りますよ。

おちんちんをリップクリームに沢山沢山擦り付けて。

出来るだけディープなおちんちんのキスを、

紗季さんにさせてあげましょうね。先輩。

ぬりぬり。ぬちゅぬちゅ。

ぬりぬり。ぬちゅぬちゅ。

ついでに裏筋も、ぬりぬりぐりぐり…っと。

ん。これでオッケーですね。

もう先輩おちんちんの中で、紗季さんがキスしてない所はありません。

巨乳美少女なクラスメイト、清楚で優しい神山紗季さんの唇は、

先輩おちんちんのモノです。あはは。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

さあ。それでは興奮も最高潮になったところで。

そろそろ射精、しましようか。

ほら、おちんちん激しく扱きますよお。
射精感高めていきましょー。

あと、キスも。

キスもしてください。先輩。

【深めのキス20秒】

ん。もう出ますか？

分かりました。じゃあ先輩。

最後にリップクリームを、私の唇に塗ってください。

いや、違いますよお。

話の流れ的にわかるでしょう？

先輩のおちんちんについてるリップを、私の唇に塗るんです。

【位置…次のセリフで正面15センチへ移動】

ん、しょ……。

ほら、おちんちんの前に私のお口、持ってきましたよお。

見てくださいねー先輩。

シコシコしながら私の唇に、先輩おちんちんを押し当てて、
リップを塗るので。

行きますよー。

ん…。んー……。ん。（リップを塗る感じ）

ふふっ。塗り終わりました。いい気分…。

本当に倒錯的で、ゾクゾクしちゃいます。あはは。

では五秒数えるので、このまま射精、してくださいね。
射精の瞬間におちんちんくわえますけどお。
気にせずいっぱい出していいですよ。先輩。

ごーお。

よーん。

さーん。

にーい。

いち。

はむ……。 (おちんちん啜えて。)

ほい。おひゃへーろーぞ。へーんぱい。

(はい。お射精どーぞ。せーんぱい。)

ん！んんっ！んんんっ……………！ (射精)

ジュズウウウウ。ジュル。じゅぶううう……………。

じゅぶ……。ちゅぶ……。ジュル……。ちゅぶ。ちゅぱ……。

ん……。……………。

ふう……。いっぱい出ましたねえ、先輩。

精液、おいしかったですよお？

イヤほんとですって。ふふふっ。

ん？

なんですか？

おや、またそれですか。

相当気にしてるんですねえ。

【位置：右耳側0センチ】

【ここから囁き（無声音）】

残念ながら、全部ホントですよ。先輩。

これはホントに紗季さんのリップですし、明日返します。

なので先輩はこれから、クラスで紗季さんと会ったび、

今日のことを思い出して下さい。

目の前でリップを使う光景、見れたらいいですねえ。あははっ。

【囁き終了】

【位置：正面5センチ】

ええ。そうですよ。私は本気で、ヤバい女の子なんです。

でも、好きなんでしょう？ 私のこと。

ふふっ。どうしようもない人ですねえ。先輩も。

ん……。ちゅっ……。 （キス）

トラック4:プレゼントおパンツコキ

【位置:正面30センチ】

はい先輩。上がってください。

どーですかぁ。

可愛い後輩ちゃんのお部屋に来た感想は。

やっぱり女の子の部屋の部屋と言うのは、ドキドキするものでしょうか？

ふふっ。そーですかそーですか。

いっぱいドキドキしてくださいね〜先輩。

その方が、今からするえっちも気持ちよくなれますから。あははっ。

へ？

ええ。そうですよ。

今からえっち、です。

いや、腰を落ち着ける時間なんか、いらないでしょう。

ご老人じゃあるまいし。

ほらベットのの上。

かわいい後輩ちゃんがいつも使ってるお布団にい。

寝てください。先輩。

SE:布団に寝る

【位置:正面15センチ】

じゃ、脱がせますね〜。

ぬぎ…。ぬぎ。

おー…。ちゃんと勃起してます。

やりやすくて助かりますねえ。この先輩は。ふふっ。

それで先輩。今日はですね。

先日した、

リップクリーム手コキの強化版みたいなプレイを、
しようと思います。

ええ。強化版です。

【位置：次のセリフ、正面斜め左耳側15センチへ移動しながら】

ん、しょ……。

ふふっ。見てください先輩。

一枚。二枚。三枚。四枚。

ここにい、

かわいくてちょっとエッチなおパンツが、4枚ありますよお。

あはっ。おちんちんビクビクさせて。

女の子の下着、興奮します？

私がこれを履いてる姿とか、想像したんでしょうか？ ふふふっ。

ですが先輩。

実はこのパンツは、私のものじゃありません。
ええ。

これは今度のクリスマス、私の友人達にプレゼントする予定の、
新品のパンツなんです。

私ね、お姉ちゃんが有名なランジェリーの会社で働いてるんですけど、
その話を友人にしたら、

流れでクリスマスに下着をプレゼントすることになったちゃいまして。

そのためにお姉ちゃんから少額で譲ってもらったのが、このパンツたち。と言っわけですね。

さて。

もう何をするのか。わかりますよねえ？ 先輩。

そう、そのまさかですよ。

今日はこの、プレゼントする予定の…

つまり、私の友人達が身に着ける予定のおパンツでえ、先輩おちんちんをシゴいてあげようと思います。

いいえ。マズくは無いですよお。

ちゃんと洗濯してアイロンして、ラッピングしなおせば、バレやしませんから。

あと、先輩に拒否権はありませんからね？

もしこのプレイを拒否したら、

私先輩のこと、フっっちゃうかもですから。

別れるのが嫌なら受け入れてください。

でもじゃないです。

フラれたいんですか？ 先輩。

……ふっ。じゃあ早速。

このパンツたちでパンツコキ、始めますね。

まずはこの、紫色の紐パンから、使いましょう。

このパンツは私の同級生の、

「三島あかね」って言う女の子にプレゼントする予定の、おパンツです。知っていたりは……さすがにしないですよ。ふふふ。

【位置：次のセリフで左耳側のセンチへ移動】

ではでは先輩。

おちんちんに、クロッチの部分をかぶせまして…。

【ここから囁き（無声音）】

はい。しごきますね。

しこしこ、ちゅこちゅこ…

ふふっ。早くも声漏らして。

気持ちいいですか？

私の友達のあかねちゃん。

見ず知らずの女の子が履く予定のおパンツで、

おちんちんシコシコされるの。

倒錯感と背徳感で、脳みそとろけちゃいます？ ふふふっ。

あ。我慢汁もあふれてきました。

おやおや。どんどんどんどんパンツに染み込んで…。

嬉しいですねえ先輩。

この、自分のおちんちんでぐちゅぐちゅになっていくおパンツを、
後輩の知らない女の子が履いてくれるなんて、

最高の体験でしょう？ あははっ。

じゃあ。お耳も舐めて、もっと気持ちよくしてあげますから。

我慢汁たくさん出してえ、

しっかりこのパンツを凌辱しちゃいましょう。先輩…。

【耳舐め20秒】

……さて。ではそろそろ、このパンツを履く予定の女の子。
あかねちゃんの写真を見せてあげますね。

ええ。ありますよ。写真。当たり前でしょう？

SE: スマホを操作する音

ほら先輩。この子です。この子。

この、足を組んで座ってる、

金髪で巨乳のギャルっぽい子が、三島あかねちゃん。

おちんちん扱ってるこのパンツを履く予定の、女の子ですよ。

どうですか？

すごく可愛い子でしょう？

私の友達って何故か、美少女ばかりなんです。

ん？

ああ、そうですね。

この写真、パンツが見えてますねえ。

足を組んでる隙間から、ピンク色の下着がチラ見えています。

いや、盗撮じゃないですよ。人間き悪いですね。

私美術部ですから。「デッサンのモデルになってる。」って言うと、
大抵の子はちょっとえっちな写真でも、撮らせてくれるんです。

あ、でももちろん、「人に見せないで」って言われた写真ですから、
これを見たことは誰にも言わないで下さいね。ふふふっ。

さあ先輩。そんな余談はどうでもいいとして。

このあかねちゃんが、

今先輩おちんちんをシゴいてるパンツを履いた時のこと、想像してみてください。

ほら、写真のパンチラ部分、拡大してあげますから、

このあかねちゃんパンツが、

先輩おちんちんで絶賛ぐちゃぐちゃになってる、

目の前のおパンツに置き換わるところ、思い描くんです。

凌辱済みパンツをこんな風に、

「きゅっ」っておまたに食い込ませるあかねちゃん

先輩おちんちんと間接まんこしながら、学校生活を送る後輩ギャル。

ふふっ。考えただけでゾクゾクしますねえ。

……でも。先輩。

じつはちょっと、期待外れだったんじゃないですか？

だって先輩。

こういうギャルっぽい子、あんまり好きじゃないですよね。

見るからに男遊びしてそうで、処女っぽくない。

こういう子より、清楚な雰囲気の子が、好みなんでしょう？

ごまかさなくていいんですよ？

先輩の性癖くらい、お見通しですから。

そのために私も、清楚な装いを心がけて……。

ああいえ、なんでもありません。

とにかく先輩。

あかねちゃん、見た目通り経験人数は二桁らしいですしい、そんなビッチな女の子のパンツでおちんちんシコシコされても、あんまり嬉しくないですよね。

出来れば処女の、清楚な女の子が履く予定のおパンツを、おちんちんで凌辱したい。そうでしょう？

なら先輩。

「チェンジ」って、言ってください。

先輩がそう言えば私、次のパンツを用意します。自分の性癖に合わない女の子をポイ捨てして、新しい女の子を、犯せますよ。

ほら。チェンジですチェンジ。

お口開いて、滑舌よく言いましょうね。

ちえーんーじ。

ちえーんーじ。

……。

【囁き終了】

【位置…左耳側5センチ】

はい。チェンジですね。分かりました。ビッチの何の価値も無いパンツ、適当に使ってコキ捨てまゝす。

【位置：次の「ぽーい」で、正面斜め左耳側15センチへ移動】

ぽーい。あははっ。

それでは先輩。

新しいパンツ、用意しましょうか。

次は……。これにしましょう。

SE:パンツを見せる

ふふっ。

白色で、少しフリルがあるだけの、シンプルなパンツです。

このかわいいおパンツで、またおちんちん、シコシコしてあげますね。

【位置：次のセリフで左耳側0センチへ移動】

しっかりおちんちんにかぶせて……。ぎゅっ、って握って。

【ここから囁き（無声音）】

しこしこちゅこちゅこ。ふふふっ。

それでえ先輩。

この白色のパンツを履く予定の、女の子はですね。

私の同級生の、

「清水小春（しみずこはる）」って言う子なんです。

もちろん写真もありますよお。ほら。見てください。

SE:写真を見せる

黒髪ロングで、おっぱいは普通くらいの、大人しそうな女の子。
前髪で目元が隠れ気味ですが、

それでも隠しきれないくらいの美少女……ですよ。

これが小春ちゃん。先輩好みの清楚な後輩少女です。

どうですか？

この写真はさっきと違ってパンツなんかは見えてないですし、
ただ窓際で本を読んでいる小春ちゃんを撮っただけのモノですけど。
だからこそ、この奥ゆかしい文学少女のパンツを、

今自分が犯してるんだって事実には、ゾクゾクするでしょう？

ほら。想像してみてくださいよ。

この知性あふれる女の子が、

先輩おちんちんで使用済みのパンツを履く姿。

黒タイツまで履いて、ガード硬そうなミニスカートの向こう側に、
先輩おちんちんシコシコしたパンツを身に着けてる光景を。

この子のパンツは先輩のオナホ。

この子のパンツは先輩のオナティッシュ。

おちんちんのビクビク、止まらないですねえ、先輩。ふふふっ。

あ。ちなみに小春ちゃんは、

さっきのビッチと違ってちゃんと処女ですから、安心してくださいね。
これだけの美少女ですし、男が寄ってこない訳では無いんですけど…。

本人は読書の時間が取られるのが嫌だからと、
彼氏を作ったことはないそうです。

おや。しかしそう考えるとあれですねえ。

小春ちゃんのおまんこが最初に触れるおちんちんは、
間接的とはいえ先輩のおちんちん。ということになりますね。

ふふっ。おちんちん反応させて。

処女の女の子を犯すの、楽しいですねえ。先輩？あははっ…。

【耳舐め20秒】

おちんちんしこしこ。ぐちゅぐちゅしこしこ。

小春ちゃんパンツじゅぼじゅぼ。

清楚な後輩文学少女のおぱんつを、

先輩おちんちんでぐちゅぐちゅしこしこ…。

ふふっ。我慢汁こんなに出して。

小春ちゃんのパンツも、

どんどん先輩おちんちに染まっていきますねえ。

良い調子、良い調子ですよ。

その調子で私の友達のこと、

いっぱい犯してくださいね〜先輩。ふふふっ…。

…でも。あれですね。

そろそろチェンジ、しましょうか。

ええ。だってまだ、パンツは二枚ありますから。

このまま小春ちゃんて射精するわけにはいかないでしょう？

ちゃんと残りの二人も、犯したいですよねえ？先輩。

ふふっ。じゃあ言うってください。チェンジって。

ほら。どーぞ。

……。

【位置：左耳側5センチ】

はーい。チェンジですね。分かりました。
可愛くて処女な小春ちゃんも、
他の女の子犯すためにコキ捨てちゃいます。

【位置：次の「ぽーい」で、正面斜め左耳側15センチへ移動】

ぽーい。ふふふっ。

それで先輩。

次はこのパンツを使いますよ。

ちよっとだけ白のレースが編み込まれた、かわいい水色パンツ。
高校生らしい子供っぽさを残しつつも、
しっかりエッチな、良いパンツでしょう？ふふふっ。

【位置：次のセリフで左耳側0センチへ移動】

じゃあおちんちんにしっかり、この水色おパンツも巻きつけて…。

【ここから囁き（無声音）】

しこしこ。ちゅこちゅこ。

それで。またこのパンツを履く予定の女の子を紹介するわけですが。
今回は先輩も知ってる子ですよ。
せっかくですし、当ててみてください。

おや。さすがですねえ先輩。一発で当てるとは。

ええ、紗季さんですよ、紗季さん。

このパンツを履くのはあ、

先輩のクラスが一番かわいい、優しくて巨乳な女の子。

神山紗季さんです。

あ、あとあと。

リップクリーム越しに、

先輩おちんちんと大量ディープキスした女の子…。

でしたっけね？

あははっ。

ねえ先輩。

あれからクラスで、

紗季さんがリップクリームを使うところ、見れましたか？

あは。見れたんですねえ。それはそれは。

どうでしたかあ？

クラスの美少女が、

自分のおちんちにぬりぬりしたリップを、口に塗る姿は。

おちんちんとクラスメイトの間接キス。ゾクゾクしました？

ふふっ。黙っちゃってえ。

その罪悪感と興奮が入り混じった顔、

なかなかそそりますね。ふふふっ。

でも先輩。リップの話はひとまず置いておきましょう。

今は、紗季さんのパンツを犯すことに集中しなきゃいけませんから。

ほら。紗季さんの写真、見せてあげますね。

クラスで見慣れてるでしょうけど。

やっぱりを写真を見ながらの方が、興奮するでしょう？

SE:写真を見せる

はい。神山紗季さんの、写真です。

栗色ウェーブセミロングの、巨乳少女。

相変わらず可愛いことで……。

ん？ どうしましたあ？ 驚いた顔して。

そうですねえ。裸ですねえ。

紗季さんが、全裸で膝立ちポーズしてる写真ですね。ふふっ。

いえね。私美術部なので、

ヌードデッサンのモデルを紗季さんに頼んでみたことがあるんですよ。

そしたら普通にオーケーしてくれて、

その時撮った写真がこれなんです。

いやー。裸の写真取らせてくれるとか、

ホントに優しいですね。紗季さんって。あははっ。

あ。こっから先輩。目をそらさないでください。

ちゃんとこの、クラスメイトが裸になってる写真、見つめるんです。見てくれないなら先輩のこと、フっちゃいますよお？

ん。そうそう。そうやってしっかり見つめててくださいね。

この、おっきいけどキレイなおっぱいと、

少し毛の生えた丸出しおまんこ。

かわいいクラスメイトの全裸を見つめながら、

その子に履かせるパンツをおちんちんで凌辱して、

気持ちよくなりましょう、先輩。あははっ。

【耳舐め20秒】

さて、先輩。

せっかくですしこの写真のおまんこのところ、拡大しますね。

ほら、ぐーって拡大して。

クラスメイトの無修正処女まんこ、一緒に視姦しましょう？
ふふっ。

おー…。なるほどなるほど…。

これが紗季さんのおまんこですか…。

毛のせいで少し隠れちゃってますけど、きれいな肌に筋が一本。
オカズにしやすい上等なおまんこですねえ。

さすが紗季さんです。

ほら先輩。

今先輩おちんちんをシコシコしてる水色のパンツを、

このおまんこが、履くんですよ。

おちんちんといっぱい擦れたうえ、

我慢汁でぐちゃぐちゃになってるこれが、

写真に映し出されているこの紗季さんまんこの割れ目に、
「きゅっ」って食い込む訳です。

紗季さんの処女まんこが初めて触れるのは、先輩ちんぽ。

背徳的ですねえ。ふふっ。

しかし、改めて考えるとすごいですね。

これで紗季さんの唇もおまんこも、

両方先輩おちんちんが奪ったわけですし。

全裸姿も、こうしてしっかり、先輩の前に晒されてる訳ですし。

これはもう、紗季さんは先輩の女と言っていいかもしれませんねえ。
いえ、女と言うには都合がよすぎるので、
オナホとでも呼びましょうか。

紗季さんは先輩の、オナホールです。あははっ。

【耳舐め20秒】

おちんちんしこしこ。

しこしこちゅこちゅこ。

パンツ越しの紗季さんまんこで、おちんちんしこしこ。

クラスメイトの処女オナホまんこで、ぐちゅぐちゅしこしこ。

いやー…。楽しいですねえ、先輩。

これから先輩は紗季さんと会うたび、

「この女、俺のオナホだ」って。

そう思う訳でしょう？

私、想像しただけでゾクゾクしちゃいますよお。えへへ…。

…ですが。先輩。そろそろチェンジ、しませんか？

パンツはあと一枚残ってますし、

最後の女の子も、しっかり犯して終わりましょうよ。

ほら、言ってください。チェンジって。

【囁き終了】

【位置：左耳側5センチ】

ん。チェンジですね。了解しました。

唇もおまんこも犯して、裸も見終わって、

女の子オナホとして消化し切ったった、用済み紗季さん、

コキ捨てちゃいます。

【位置…次の「ぽーい」で、正面斜め左耳側15センチへ移動】

ぽーい。あはは。

じゃあ先輩。最後は、これ。

黒色レースの、上品でえっちなおパンツ。

【位置…次のセリフで左耳側0センチへ移動】

これでおちんちん、扱きますね。

【ここから囁き（無声音）】

しこしこちゅこちゅこ。

…で。先輩。

このパンツを履く予定の女の子…

いえ、今先輩が犯してる女の子はですね。

「日野真由香（ひのまゆか）」って言う名前の、私の幼なじみです。
学校は、違いますけどね。

あはは…。そりゃそうでしょうねえ。

むしろこの名前を、聴き覚えがあるで済ませるのは、
時世に疎い先輩くらいなものですよ。まったく……。

真由香ちゃんですね。

私の一番の親友であり、なんと現役の、トップアイドルなんです。

ええ、アイドル。

テレビでも雑誌でも話題の、超がつく有名人ですよ。

写真見せますね。

ほら。この黒髪ショートで下着姿の女の子が、真由香ちゃん。見たことあるでしょう？ ふふっ。

真由香ちゃん、胸は普通くらいですが、容姿はさすが、トップアイドルと言った感じですね。幼さを残しつつも蠱惑的で、笑顔がまぶしい超絶美少女です。

ねえ。どうですか先輩。

この、日本有数の美少女アイドルが履くパンツを、今先輩は犯してるんですよ。

写真の中の真由香ちゃんが履いてるパンツ。

このトップアイドルパンツが、

今先輩おちんちんをくちゅくちゅシコシコしてるパンツに、置き換わる訳です。

今までとは違う、アイドルと言うブランドを犯してる感触が、最高に倒錯的で、ゾクゾクしませんか？

ちなみにですけどお、先輩。

公式では真由香ちゃんの下着姿なんて、一切公開されてません。

今先輩に見せてるこの、下着姿の真由香ちゃんの写真は、私が個人的に撮った、ありえないくらいレアな一枚なんです。

「清楚系アイドルの、非公式えち下着ショット」

先輩のためだけの、プレミアなオカズですよ。ふふふっ。

でも。先輩。

実はちょっと、がっかりしてません？

紗季さんの写真はヌードだったのに、

真由香ちゃんの写真は下着姿なのかーって。

がっかり。してますよね？先輩。ふふっ。

でも大丈夫です。

私はとても有能な後輩なのでえ。ちゃんと用意、してますよ。
真由香ちゃんのヌード。

ほらコレです。

ソファに全裸で横たわるトップアイドル、日野真由香のエロ写真。

なんか頼んだら、普通に撮らせてくれたんですよ。

まあアイドルですから、

自分の体に自信があるってことなのでしょう。ふふふっ。

どうですか先輩。ヤバくないですかあ？

真由香ちゃん、アイドルだからか脱毛してるので、

紗季さんみたいにおまんこ隠れたりしてません。

おっぱいも、ぴっちり閉じた無修正パイパンおまんこも、
ぜーんぶ完全に丸見えで、観察し放題です。

ちなみに真由香ちゃんも、処女らしいですね。

テレビのイメージそのものの、清廉潔白なアイドルの全裸。
最高のオカズです。あははっ。

ほら、真由香ちゃんのおまんこも、拡大してみましよう。

ぐーってズームして。

これがトップアイドルの、無修正おまんこですよ。ふふっ。

どうですう？

この綺麗なパイパンおまんこのスジに、

今先輩がオナホ替わりにしてるぐちゃぐちゃパンツが、
食い込むんですよ。

トップアイドルの初めては、先輩おちんちん。

本日三人目の処女レイプ。楽しいですねえ。ふふふっ。

あ。もしかしたら真由香ちゃん、

この先輩おちんちんが染み込んだパンツを履いたまま、
テレビに出ることもあるかもしれませんね。

そうしたら実質、

先輩に犯されながら全国放送される真由香ちゃんの完成です。
楽しみですねえ先輩。

これからテレビで真由香ちゃんを見るたび、

この裸と、おちんちんで犯しまくったパンツを履いてる姿想像して、
最高の優越感を味わえますよ。ふふふっ。

ほら。激しく扱いてあげますから。

もっと真由香ちゃんのパンツ、ぐちゃぐちゃに凌辱してください。

私の親友のアイドルちゃんを、パンツ越しにしっかり犯して。

全国放送レイプ、しちゃいましょう。

ええ、親友ですよ？ 親友。あはっ。

【耳舐め20秒】

……ていうかあれですね。先輩。

こうして先輩がオナホ替わりにしたパンツを履かされる女の子って、
なんだかゴミ箱みたいですよ。

ええ。

オナティッシュとか、使用済みオナホを放り投げるための、ゴミ箱。
ポジション的には、それに近くないですか？

ふふっ。

そう考えるとますます女の子がみじめで、楽しくなっちゃいますねえ。

トップアイドル、真由香ちゃんのおまんこは、

ぐちゃぐちゃ使用済みオナホパンツを捨てるための、
先輩専用ゴミ箱まんこ。

うんうん。いい響きです。あははっ。

【耳舐め20秒】

ん……。そろそろ出ますか？

じゃあ最後は、このアイドルのパンツに、射精してください。
いっぱい出して、精液でさらにぐちゃぐちゃにしたパンツを、
真由香ちゃんのおまんこに投げ捨てましょう。

ん……。？ なんです？

どういう意味ですかそれ。もうパンツは無いんですけど…。

…。あー…。そっいう。

SE:手コキをやめる

【囁き終了】

【位置…左耳側5センチ】

いえ。いいですよ。分かりました。

最後は私のパンツを、使ってあげます。

でも良いんですか？

アイドルのパンツの方が、レア度高いですよ？

…そうですか。

いやはや、ホントに私のこと好きなんですねえ。先輩は。

じゃあ……。脱ぎますね。

ん……。しょ……。

はい。後輩彼女の脱ぎたてパンツです。

いや、濡れてるのはご愛敬ですよ。

いいじゃないですか、別に。

【位置：次のセリフで左耳側0センチへ移動】

ほら、おちんちん包んで、扱いてあげます。

【ここから囁き（無声音）】

しこしこ、ちゅこちゅこ。

大好きな後輩ちゃんの、おパンツですよ。先輩。

【耳舐め20秒】

ん。限界ですか？

良いですよ、出してください。

いっぱい女の子犯したこと思い出しながら、

最後は大好きな後輩ちゃんの脱ぎたてホカホカおパンツで、
たっぷりお射精、しちゃいましょう。

ほら。もう出ますね。イっちゃいますね。

私のおまんこも、パンツ越しにしっかりレイプ、しちゃいますね。
さーん。にーい。いち。

はい。いっちゃえ、先輩。

すう……。ふう……。(呼吸音一回)

ふふっ。いっぱい出てますねえ。

びゅーびゅードクドク。すごい濃さ。

私のパンツ、どんどんぐちゃぐちゃになっていきます。

このままお耳舐めててあげますから、

最後まで出し切ってくださいね。先輩。

【耳舐め15秒】

【囁き終了】

【位置…左耳側5センチ】

出し切りました？

【位置…次のセリフ、正面15センチへ移動しながら】

じゃあせっかくですしい、おちんちんの掃除は、

みんなのパンツで行いましょうか。

亀さんやカリ首は、アイドルの真由香ちゃんパンツでふきふき。

竿の部分は、クラスメイトの紗季さんパンツでござい。

たまたまの部分は、文学少女の小春ちゃんパンツでぐちゅぐちゅ。

太もも回りは、ギャルのあかねちゃんパンツでスリスリ……。っと。

よし。完璧ですね。

みんなのパンツで、先輩おちんちんしっかり綺麗になりました。

ふふふっ。

んーっ…。ふうー…。（伸びをして息を吐く）
いやー。いい気分です。

友達みんな先輩おちんちに犯されて、
ついでに私のパンツも、

最後に精液受け止めるオナティッシュみたいな扱われ方されて。
最高のえっちでしたよ。えへへ……。

あ、今回先輩に見せた写真、スマホに送っておきますね。

あと、この下着を履いたみんなの写真も撮れば、
それも送りますから。

いっぱいオナネタにしてください。ふふふっ。

いやいや、大事にしていますよお？

みんなホントに、私の大切なお友達です。

ていうかあれだけ興奮しておいて、小言言わないで貰えますかねえ？
そういう事言うとフっちゃんいますよー？ 先輩。

ふふっ。分かればいいんです。

それより先輩。この後ゲームとか、先輩とする予定なんですけど。

この精液でぐちゃぐちゃになった私のパンツ、
履いて過ごして欲しいですか？

それとも、ノーパンの方が好みですかね？

選んでいいですよ？ せーんぱい。

トラック5:課金手コキ

【ここから囁き(有声音)】

【位置:右耳側0センチ】

せーんぱい。

【囁き終了】

【正面斜め右耳側30センチ】

あははっ。驚いちゃって。

ええ、部活終わりましたよ。

待っててくれてありがとうございます。

【位置:正面30センチ】

それで、何してたんですかあ？先輩。

スマホ弄ってましたけどお、

まさか私以外の女の子とやり取りとか、してませよねえ？

あはは、冗談ですよ、冗談。

先輩が浮気する度胸がないことくらい知ってますよ。

ソシヤゲ、してたんでしょう？

好きですねえ。ホント…。

……。

ねー先輩。

ちょっとスマホ、貸してくれませんか？

いえ、やりたいことがあるので。

あはは……。簡単に貸してくれるんですね。

さすが先輩。相変わらず私のこと、大好きじゃないですか。

えーっと、待っててくださいね。

ここを開いて、ぽちぽちぽち……。

はい、設定完了っと。

ふふっ。何をしたかは後で説明します。

それより先輩。

今からえっち、しませんか？

ええ。この教室で。別にいいでしょう？

【位置：次のセリフで正面15センチへ近づく】

ほら、ズボン脱がせるので。

椅子から腰、浮かせてくださいよ。先輩。

SM：脱衣音

ん。出てきましたねえ、先輩おちんちん。

相変わらず元気いっぱいいな事で。ふふふっ。

【位置：正面30センチ】

じゃあまずなあ。

先輩も気になっているであろう、

今日のプレイ内容の解説をしますね。

じゃん。これを見てください。

SE:タイマーを取り出す

ただのタイマーじゃありませんよ。

これはインターバルタイマー。

2分ごとに繰り返しアラームが鳴る、タイマーなんです。

今日のプレイではこれを起動しながら、

私が先輩おちんちんを手コキします。

そして先輩が射精するまでの間、

タイマーが鳴るたびに、私には罰が下されます。

ふふっ。つまりですねえ。

このプレイにおいて私はあ、先輩の性奴隷。なんですよ。

性奴隷として私は、

先輩を手コキでなんとか射精させようとするわけですが、

それが及ばず、先輩の射精が2分遅れることに、

ダメな性奴隷である私は罰せられる。

そういうプレイです。

ね？ 楽しそうでしょう？

ふふっ。罰の内容は、単純なモノですよ。

お金。つまりは罰金です。

私実は、先輩のスマホアカウントのパスワード、知ってまして。

さっき先輩のスマホに、

私のクレジットカードを紐づけしちゃいました。

これを使ってタイマーが鳴ることに、

先輩のソシャゲへ私の口座から一万円ずつ、課金します。

現金手渡しと違って、取り返しがつかないお金の渡し方。
完璧な罰金が、私に貸されるわけですね。

ちなみに私の口座には5万円入ってますよ。
月一万のお小遣いを貰ってる私の、全財産。

超大事なお金です。ふふふっ。

ん？

いいえ。マズくは無いですよ。

私のお金ですし、私にとってはこれが、
一番有意義なお金の使い方ですし。

それにいつも通り、先輩に拒否権はありません。

フラれたくなかったら先輩はあ、

私の散財プレイに付き合わなきゃダメなんです。

【位置：次のセリフで右耳側のセンチへ移動】

…それにさ。先輩。

興味、あるでしょう？

【ここから囁き（有声音）】

年下の彼女からお金を巻き上げる感覚。

その罪悪感の中でおちんちんシコシコされたら、
きっと最高に気持ちいいと、そう思いませんか？

ふふふっ。おちんちんビクビクさせて。
先輩ってば、

私のせいで性癖歪みまくってますねえ。あははっ。

【囁き終了】

【位置：正面斜め右耳側5センチ】

じゃあ先輩。早速始めましょうか。

二分ごとにお仕置きされる性奴隷。

小羽根 柚子（こばね ゆず）ちゃんのご奉仕で、
気持ちよくなって下さいね。ふふふっ。

さ、タイマースタート。

【タイマーの時間に関しては、耳舐めや間の調整でどうにかするので、
あんまり気にせず読んでください。】

【位置：次のセリフで右耳側0センチへ移動】

それでおちんちんを、しこしこしこし……。……。

【位置：右耳側5センチ】

…ん？

そうですよ。私は小指と親指しか使いません。

この、快感を与えにくい二本指の手コキで、先輩を射精へと導きます。
だって私はあ、性奴隷ですから、

極力不利な条件でみじめにご奉仕しないと、おかしいでしょう？

あとですねえ先輩。

性奴隷として私、今は下着を、つけて無いんですよ。教室に入る前にあらかじめ脱いでおきましたので。

白シャツの向こうは生おっぱいでえ、

スカートの中は処女まんこ丸出し。

おちんちんご奉仕することに特化した、

ノーパンノーブラ変態女子です。

ほら先輩。

私の生おっぱいや生おまんこ。自由に触っていいんですよ？
なんなら裸にしてレイプしたって、私は一切抵抗しません。

性奴隷。性奴隷。

あなたの大好きな後輩、小羽根柚子（こばねゆず）ちゃんは、
先輩専用性処理生オナホですから。ふふっ。

……おや。胸をもむだけですか。それはなんとも…。

いえ、性奴隷なので口答えはしません。

ご自由にどうぞ、先輩。

【耳舐め20秒】

SE:タイマーの音

おや、タイマー鳴りましたね。

じゃあ先輩。

まだ全然おちんちんを気持ちよくできていない、
ダメな性奴隷である私に、罰を与えましょう。

謝りながら私の手で、しっかり一万円、差し出すので、
聞いてください。先輩。

【囁き終了】

【位置…右耳側5センチ】

【演技…ここから突然キャラ変したいです!!】

【意思を失った奴隷のような、放心無表情な演技をしてください】

【キャラブレも気にせず、大きく演技を変えて頂きたいです!】

ごめんなさい、先輩。

おちんちんを気持ちよくするしか能が無い、性奴隷のくせに、それすらも満足にできなくて、本当にごめんなさい。

私が頑張って貯めたお金、差し出します…。

おちんちん以下の存在である私の貯金、踏みにじっていいです。

雑魚まんこでごめんなさい。

ゆるゆるオナホでごめんなさい。

ごめんなさいごめんなさい

ごめんなさいです。先輩…。

【位置…右耳側0センチ】

【演技…もとの小悪魔後輩で】

【ここから囁き（無声音）】

…はい。課金しましたよ。

いえ、放心無表情な声の方が、性奴隷感出るかと思ひまして。

それよりどうですか先輩。

後輩の女の子から、お金を巻き上げた気分は。

おちんちんに奉仕させながら、ついで感覚で適当に一万円奪って…。

女の子の尊厳を踏みにじる快感、

滅茶苦茶興奮、したんじゃないですか？

ええ、良いんです。

何度も聞かないでください

今先輩が受け取ったお金は、いわばオナホの付録。

私と言う性奴隷。オナホ程度の分際にくつついてきた、付録なんです。そして付録は当然、オナホ所有者の先輩のモノでしょう？

だからどうぞ。

気軽に大好きな女の子の大切なお金、

巻き上げちゃいましょう。先輩。ふふふっ。

SE:タイマーの音

おお、そうこう言ってるうちに、また鳴りましたね。

性奴隷オナホの次の付録を、受け取る時間です。

【囁き終了】

【位置:右耳側5センチ】

【演技:ここから放心無表情な演技で】

先輩、ごめんなさい。

おちんちん気持ちよく出来なくて、ごめんなさい。

無価値なオナホとして、お金払います。

人権無しの性奴隷まんこ、お金払います。

許して下さい。許して下さい。本当にごめんなさい。先輩…。

【位置:右耳側0センチ】

【演技:もとの小悪魔後輩で】

【ここから囁き(無声音)】

…はい。課金しました。

良かったですねえ先輩。

この短時間で二万も課金できましたよお。

大好きな後輩を、性奴隷にした甲斐がありましたねえ。ふふっ。

さて。じゃあそろそろ。

この余裕のある喋り方も、やめましょうか。

ここからはずーっと、

謝ってるときに使った、暗くじめじめした喋り方、ずっとしますね。

性奴隷ちゃんが、こんな明るく話してるの、おかしいですから。

ふふふっ。

んんっ……。 (可愛く咳払い)

【囁き終了】

【位置：右耳側5センチ】

【演技：ここから放心無表情な演技で

指示があるまで演技続行】

えっと……。じゃあ、先輩。

またお耳、舐めますね。

私の手、ゆるゆる雑魚まんこなので、

せめてお耳を舐めないと、話になりませんから。

はい。舐めます。

性奴隷の浅はかな耳舐め奉仕、します。先輩……。

【耳舐め20秒】

【位置：右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ん。また鳴りました。

じゃあ。お金払いますね。

…はい、払いました。

これで計三万円払ったので、五万あった私の貯金、もう半分以下です。

許してください。許してください。

全然気持ちよくない、私のゆるゆるおてまんこ、許してください。
雑魚オナホ性奴隷の後輩が、引き続きご奉仕します。
ごめんなさい。先輩…。

【耳舐め20秒】

性奴隷。私は性奴隷です。

あのからかい口調で明るかった後輩、

小羽根柚子は、今先輩の性処理オナホをやってます。

シコシコします。おちんちんシコシコします。

性奴隷の私の体は全部、先輩のオナテッシュなので。

ノーパンノーブラで胸もまれながら、

いっぱいシコシコ、させて頂きます。

SE:タイマーの音

あ、性奴隷お仕置きタイマー。鳴りました。

じゃあまた、罰を受けますね。

ゆるゆるゴミオナホについてきた、

受け取って当たり前な慰謝料を、お支払いします。

はい。雑魚まんこ代、払いました。

これで残りの私の貯金は、たった一万です。

ごめんなさい。先輩。

【耳舐め20秒】

あのですね、先輩。

実は私、来月友達の小春ちゃんから、ライブに誘われてたんです。

でも、今先輩に四万払ったので、当然いけなくなりました。

なので、見てて下さい、先輩。

小春ちゃんに今から、断りの連絡をします。

性奴隷が私生活を凌辱される風景、お見せします。

ほら、小春ちゃんとのチャットに、

「ごめん。お金ないからいけない」と、打ち込みました。送信。

どうですか先輩。

私、先輩にお金を奪われて、遊びも買い物もできない、みじめな女の子になりました。

おちんちん気持ちいいですか？

でも、当然のことです。

性奴隷はただ黙って、

おちんちに奉仕するだけの存在ですから。

それ以上の人間的行為なんて、奪われて当たり前です。

……あ。

そうこう言っているうちに。最後の私の一万も。

SE:タイマーの音

これで、なくなっちゃいます。

じゃあ。払いますね。

私の全財産、自分の生活をぶち壊しながら、払います。
どうぞ受け取ってください。ごめんなさいです。先輩…。

…はい。課金しました。

私の貯金全部、おちんちに凌辱されて消えました。

気持ちいいですか？ 先輩。

無能なおちんちん奴隷の私にふさわしい末路、
オカズになりますかね…？

じゃあ引き続き、雑魚な性奴隷がご奉仕します。

もうお金が払えない私は、次までに射精させないと、ダメなので。
私からすべてを奪ったおちんちん様に、
丁寧にご奉仕、させて頂きます。先輩…。

【耳舐め20秒】

ん。そろそろ出ますか？

射精して、下さるんですか？

ごめんなさい。ごめんなさい。

射精がこんなに遅くなったのは、

全てゆるゆる雑魚オナホである私のせいです。

おててまんこ下手でごめんなさい。
五万しか払えなくてごめんなさい。
惨めなメスでごめんなさい。
おちんちん以下でごめんなさい。

ごめんなさいごめんなさい。
ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい。

SE:タイマーの音

……あ。タイマーなっちゃいました。
射精してないのに、なっちゃいました。

えっと。ごめんなさい。もう払えるものありません。
おちんちん気持ちよくできない、無価値な性奴隷のくせに、
お金も無いので、何も差し出せません。

【囁き終了】

【位置：次の一行で正面5センチへ移動】

あの……。なので先輩。
せめて私の女の子の中で一番価値のあるもの。
処女を、差し上げますね。
性奴隷の処女なんて、おちんちんで貫かれて当然ですけど。
もう差し出せるものコレしか無いので、これで許してください。

【位置：次のセリフで左耳側5センチへ移動】

じゃあおちんちん、入れます。
一万円以下でしょうけど、性奴隷まんこの処女、破ります。

雑に精液コキ捨てて、

このおまんこ、適当に孕ませて良いですよ、先輩。

んっ。んあっ……。あっ……。あう……。(挿入)

【位置…左耳側のセンチ】

【ここから囁き(有声音)】

はあ、はあ、はい……。射精ですね。どうぞ。先輩……。

はあ……。はあ……。はあ……。はあ……。

おお…、出てますね……。

私の処女、オナティッシュにして、気持ちいですか……？

じゃあ、えっと。

タイマー、止めますね。

SE:タイマーを止める音

【囁き終了】

【演技…もとの小悪魔後輩で】

【位置…正面5センチ】

ふふっ。ふふふふっ。

気持ちよさそうな顔してますねえ？先輩。

大好きな女の子を性奴隷にして、全財産奪って。

そのうえ処女まんこに、生で精液コキ捨てて。

最高の気分ですか？

ふふふっ。

ああ、それは内緒です。

性奴隷に中出しする時、

大丈夫かどうか確認する人なんていないでしょう？

妊娠した場合はあ、性奴隷側が勝手に、一人で解決するものですから。
気にしないで下さい。

それより先輩。

一応これが、私たちの初挿入なので、キスでもしましょうよ。

ほら。残りの精液も、ちゅっちゅっで出し切って下さい。

【深めのキス20秒】

出し切りました？ はい。お疲れさまでした。

今日のエッチも楽しかったですよお。ふふふ。

トラック6…クリトリス凌辱ボックス!?

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

どうぞ先輩。上がってください。

あははっ。そんなに驚かなくても。

そうですね。ベットのの上に、手錠と足かせが設置してあります。
やりたいプレイがあるので、

先輩が来るまでに準備しておいたんですよ。

【位置…次のセリフで正面30センチへ移動】

さあ先輩。ズボンを脱いで。

ベットの上に、仰向けで寝てください。

いやいや、怖がらないで。

ほら早く。先輩。

SE:ベットに寝る

【位置…右耳側15センチ】

さて先輩。今日はですねえ。

私と先輩の、初めてのセックスをしようと思います。

いいえ。

先日のアレは挿入しただけなので、
セックスとは言えません。

おちんちんとおまんこが繋がった状態でパコパコする。
それをもって、セックスと呼ぶべきです。

それでえ先輩。

私はこの、記念すべき初えっちにあたって、
とっておきのモノを用意しました。

いえいえ。手錠と足かせとは別に、です。

【位置：正面斜め右耳側15センチ】

じゃん。コレです。

このボックスは、市場には流通していない貴重なもので、
「クリトリス凌辱ボックス」って言います。

色々あって、この前手に入れました。

透明なボックスの中。

中心にクリトリスの模型があるの、分るでしょう？

そしてその回りに、

電動ブラシや電極、ローターなんかがついたアームが、
所せましと並んでますよね。

ちよっと電源、入れてみましょうか。

ほら、電源を入れるとこのように、

ボックスの中のクリトリスの模型が、
ブラシや電極なんかで凌辱されます。

面白いでしょう？

なんですかあその顔は、見てるだけで癒されるじゃないですか。
凌辱されるクリトリス、最高のインテリアです。

でもですねえ先輩。

このボックスは実は、眺めるためのモノではありません。
真価はここから。なんですよ。

というのも、これ。

ボックス付属の、この小さなリングを、クリトリスにハメるとですね。

なんとボックスの中のクリトリス模型と、

実際のクリトリスの感覚を、シンクロすることができるとです。

この、見るからに回転数がヤバイブラシでの、クリ磨きとか、

すごい電圧のクリ通電とか、

えげつない凌辱の数々を、

リングを付けるだけで、味わうことができるんですよ。

いや、嘘じゃありません。

最先端の科学を使って実現された、夢のボックスなんです。これは。

……それで、ですなぁ、先輩。

今日は私、このクリ凌辱ボックスにクリトリスを犯されながら、先輩とセックスをしようと思います。

はい。細かい説明の前に、ひとまず準備をしますね。ちよっと待っててください。

【位置：正面15センチ】

…ボックスを一旦止めて。

私のクリトリスに、リングをハメます。
んっ……。

それで、ベットの手枷と足かせを、私につけますね。

ええ、そうですよ。

これは私を拘束するためのものです。

先輩につけるわけ無いじゃないですか。

【位置…次の行「右手…」で、正面5センチへ近づく】

右足。左足。右手…。っと。

先輩。最後の左手の手錠、つけてくれませんか？
はい。ありがとうございます。

これで私は、
先輩の上に覆いかぶさりながら、
四肢を拘束されている状態になりましたね。

さて、先輩。

今から私たちは、この状態で騎乗位セックスをします。
それでセックスを始めるのと同時に、先輩は目の前にある、
クリトリス凌辱ボックスの、電源を入れて下さい。

そうなる当然、私はクリにえげつない凌辱を受け、
イキ狂うでしょう。

ですがそこで、ルールがあります。

一つ。このセックスでは、先輩からは絶対に動かないこと。

二つ。先輩が射精するまで、

先輩は絶対に、ボックスの電源は切らないこと。

この二つを、必ず守って下さい。

ふふっ。このルールがあることで、
ひどい状況が生まれるの、分りますよねえ。

拘束されている私は、

自力ではクリボックスの電源を切れませんから、
電源を切るために、自分から腰を振って、

先輩を射精させなきゃいけないんです。

クリトリスを滅茶苦茶に凌辱されながら……ね。

つまり先輩は今から、

快樂地獄にのたうちまわりつつ、

必死におまんこでおちんちんにご奉仕する、

大好きな後輩ちゃんが見られるんですよ。

どうですか？ 最高に楽しそうじゃないですか？

あ。ルールを破って、

射精してないのに勝手にボックスの電源を切ったりするのは、
ホントにやめてくださいね。

私多分、「助けて」とか、「もう無理死んじやう」とか言いますが、
何を言われても助けないでください。

クリ凌辱を先輩が中断した場合、

私先輩のこと、フっちゃいますから、

いつも通り私のプレイに、しっかり付き合ってくださいね。ふふっ。

さてさて。では説明も終わったことですし。

始めましょうか。私のクリトリスを、凌辱するセックス。

後輩ちゃんのアクメ地獄ご奉仕セックス、スタートです。

トラック7…耳元でかわいくイキ狂ってくれる小悪魔後輩ちゃん

【位置…正面5センチ】

じゃ、おちんちん入れたら、ボックスの電源、入れてくださいね。
色々モードがありますけど、
一番右の警告マークがついてるスイッチを、入れてください。
それが一番、ヤバイやつなので。

ええ、ではおちんちん、おまんこに入れます。
手が使えないので、頑張らなきゃですが。

あてがって、なんとか…。腰を……。沈めて……

んっ…。あっ…。んあっ……。 (挿入)

【位置…次の呼吸で左耳側0センチへ】

はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

【ここから囁き（有声音）】

【演技…激しい喘ぎをお願いします。】

【一応囁きを指定していますが、耳元で喘ぐという性質上、別にそんなに囁きを意識しなくても良いです。】

【それと…下品よりではなく、可愛く喘いでほしいです。】

一部オホ声（母音に濁点）がありますが、

そこは下品よりでもOKです。】

はい、先輩。どうぞ電源を、入れて……。

んはあ！？ あ……う……。 （余りの刺激の強さに、一度声を失う）

はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、ふう、

まって、センパイっ、無理。

無理無理無理無理。ヤバイヤバイヤバイヤバイ。

あひゅっ。ブラシが。ブラシがゾリゾリっ。クリを磨いてっ。んあっ。

ふう、ふう、はあ、はあ、

あ、イク。もうイク。むり、こんなの無理。

イクイクイクイク イクイクイクイク イッ……く……。

SE:潮吹き

はあ、はあ、はあ、はあ……。

うそ、止まらな…、あっ、あっ。んあっ。

ブラシ、止まらない。これでセックスとか、できるわけ

あっ、あ、ふう、はあ、またイクっ……。

SE:潮吹き

はあ、はあ、はひゅ、はあ。

腰、動かしまひゅ。死んじゃう前に、ピストンします。

あ、あ、んあっ。はあ、

射精、射精してください、先輩。

SE:ここから不規則なピストン。

【ピストンに対する喘ぎは全く意識しなくていいです】

あっ。あ……。ああああ……。

はっ。ふっ。あふっ。はあ……。

んっ。んああっ。だめっ、あうっ。

ふうー。ふうー。んあっ。あふっ……。

む、無理。やっぱ無理……。

腰、がくがくして、ピストンできな。

あっ、んああっ。あっ……、

お、おお……。お、おふ……。いぐ……

SE:潮吹き

ふうー。ふうー。はあ、はあ、

動く……。動き、ますから、もうクリ磨かないで……

射精して、先輩。早く、イって……

んっ、んあっ。あっ、あふっ……。

いっ、あっ。んはあ、あっ、

死ぬ、こんなの、しぬ……

んあ、あふ、ふう、はあ、

痙攣して、のたうち回ってるおまんこに、

おちんちん出し入れしたら、死んじゃいます……。

あっ、あっ。イクイク、もう嫌、いやいや、いくっ……。

SE:潮吹き

はあ、はあ、はあ、うう…

壊れる…。私、壊れるちゃうよお…

んっ、あっ、あふっ、はあ、はあ、はあ、はあ、

あ、お。おお…。

嫌、ヤバいの来る。

むりむり、知らない。こんなの知りたくない。

あっ、うっ、はあ、はあ。

いぐ…。

イクイクイクイク 無理無理無理無理、

【「イッ」で、大きめの絶頂。その後、放心気味の演技へ移行】

あ、いや、イッ……あ……。

あ、あ……。

はあ……。はあ……。はあ……。はあ……。

あ、あの……。

喘げない、くらい、やばい……。かも……。

あ……。あ……。ふう……。ふう……。

い、意識が、もう……

SE:アームの音

【放心気味の演技、また元に】

え。なにそれ。電気…？

だめ。そんなの、ブラシの方がましです。

やめて、やめてやめてやめて。

ホントに、私のクリトリス、おもちゃにしないで下さい。

いや、いやいや、い…や…

SE:電気が流れる

ふあああ。んっ、あ。んあああ、
あ、あ、ふう、はあ、はあ。

だめ、死んじゃう、死んじゃう。
クリ、焼ける。熱いです。

おかしい、おかしい、
電圧、普通じゃない。

んあああ、あ、あ
もうやだあ……。い。いぐ。いぐいぐ、いってる、死んじゃう、
あ、あ、あうっ……。はあ、はあ、はあ、はあ、

先輩、助けて……。助けてよ。

もういいでしょ、セックス充分っ、堪能したでしょ。
フらないから、フらないから。

私のクリ、壊さないで。

あ、あ、お、お、あ、あ、はあ、ふう。
いく！

もう嫌なのに、またイク。

やだ、いく、むり、いく。いぐっ……。。

あ、あ、はあ、はあ、ふう、はあ、あ、あ。

動く。うごき、ます。

ズタボロおまんこ、おちんちん出し入れします……。

ん、あ、ああ……。

動けない、けど、おまんこ壊す気でピストンしないと、
イキシんじやう、から。

あ、んあっ、ああ。はあ、はあ、はあ、はあ。

最低、先輩、最低……。んっ、んあっ……

大好きな女の子が、むごすぎるクリ処刑、されてるのに、あっ、あっ、ふあっ、ふうう、

なんでおちんちん大きくしてるんですか。

はあ、はあ、ふう、はあ。

初セックスで、こんな大きいのが、突っ込まれて……。

クリ拷問されながら、セックスとか……。

あっ、んあっ、ふああああっ、あっ……。

はあ、はあ、はあ、はあ。

SE:アームの音

……へ、待って、

次は、それなの？

いや、おかしい。そんなのもう、拷問でしょ。

電気、電気の方が良い。

まだその方が、マシです。

いや、助けて先輩。助けて助けて助けてたす

SE:クリトリスむち打ちの音。

【次の一行激しめになるので、

少しマイクから離れて(音割れしないよう)、

絶叫が終わったなら耳元に戻ってください。】

んあああああっ、イクイクイツ……。

はあ……。はあ……。はあ……。はあ……。

【この辺からすこーしだけ、

要所要所で涙声を混ぜてくれると嬉しいです】

むち打ちとか、知らない…。しかも、竹ひごみたいなの、固いやつで…、痛い…、痛いのに、イってる……。からだ、おかしいよお……。

あ、待って。腰振りますから、待ってください、

二回目やだ、二回目やだ、

死んじやう死んじやう。

無理無理無理無理ごめんなさいごめんなさいごめんなさい……

【次の一行も、少しマイクから離れて、

絶叫が終わったら耳元に戻ってください。】

ふにゃああああ、い……あ……。あ。

い、いき、ま……。

いきまし、た。

はあ、はあ。はあ、はあ。

せ、先輩…。

もう、壊れちゃいますよ？

クリトリス、このまま処刑され続けて、

私、壊れちゃいます。

これ、センパイのせいです。

先輩が助けてくれないから。

私このまま、クリトリス拷問されてイキ狂い続ける、

アクメ人形に、なるんです。

最低、最低、センパイ、嫌い…。

あ、また、きます。三回目のむち打ち。

クリトリスしばかれて、むごたらしくアクメ、します。あ…

【次の一行も、少しマイクから離れて、

絶叫が終わったら耳元に戻ってください。】

ひぎいいい。あふっ…。お、お、お。いぐ。いぐ……。
はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

助けて、もう助けてよ。

フらない、フらないから。

助けて下さい…。先輩。

へ？ もうイく？

だから…。だからなんですか…？

どうせそろそろ射精するから、

助けないって、言いたいんですか？

いや、センパイ。

おかしいですよ、その思考。

ほら、見てください。また、私のクリトリスが

SE:むち打ち

【次の一行も、少しマイクから離れて、

絶叫が終わったら耳元に戻ってください。】

んはああああ！

んっ、あっ……。いくいくいくっ……。あ、あ……。

はあ、…。はあ…。はあ…。はあ…。

こんな風に、いじめられてるんですけど、
それなのに射精するまで止めてくれないとか、
頭おかしいんじゃないですか…？

はあ…。はあ…。んっ…。はあ…。

最低、最低です。先輩は鬼畜、異常性癖、
ホント、死ねばいいのに……。

好き…

SE:むち打ち

んはあああああ！ あ…。う…。
ふう、ふう、ふう、ふう……。

あ…はい…。イクんですね。

勝手にイけばいいじゃないですか。

助けてくれない最低おちんちん、勝手に、…って。

SE:アームの音

え、まって、

それだめ、絶対ダメ。

左右同時に、定規みたいなやつでクリビンタして、
そのままクリを、挟みつぶすやつ…

なんで…。なんでここで、

そんなのが出てくるんですか？

むち打ちだけで良かったじゃないですか。

先輩、早くイって。早く、早く早く。
アレ、無理ですから。

勢いよくクリつぶされて、イキ死んじゃいますから。

ねえ、早くしてよ。

ほら、センパイ、イって。イって。

中出ししていいって、言ってるんです。。

あ、イクんですか？

はい。ありがとうございます。ありがとうございます。先輩だーいす

【次の一行も、少しマイクから離れて、

絶叫が終わったら耳元に戻ってください。】

んはああああ。あ、あ、あ、あ。お、お、お、お。

いく、いく、いく、やだ……。

イクイクイクイク イクイクイク イっ…………ぐ…………。

あ、あ、はあ、はあ、

イクの止まらないイクの止まらない。クリつぶれるクリつぶれる。

先輩、出てる、射精してるじゃん。早く切って、早く切って、

クリ凌辱ボックスの電源、切ってよ先輩。

早く。しんじやう、クリ死んじやうから……。

SE:電源を切る

はあ……。はあ……。はあ……。はあ……。はあ……。

あ、ありがとうございます。先輩。

クリつぶし、解放されました。

あはは……。

SMボックスの動く音

【囁き終了】

【位置：正面斜め左耳側5センチ】

あ、次のアームが、出てきましたね。

次は、クリップみたいなのでクリをつままれて、ちぎれるくらい引っ張られながら、

超振動のバイブを全体に、ゴリゴリと押し当てられるみたいです。

…ふふっ。止まりませんよ。

実は今回使用してるのは、

電源を切っても∞時間は動き続けるっていう、鬼畜なモードなんです。だからまだまだ、私のクリ凌辱は続きますよ。

んっ、んあっ…。くり、挟まりました。

いたいし……。挟む力、強すぎ…。

んっ…。あっ…。きつ…。はあ、はあ。

私…私ね。最高の女の子凌辱を、

先輩に見てもらいたくて、こういう設定にしたんですけど。

正直ちょっと、絶望してますね。

このままあと三時間も、

クリアクメイキ人形として潮吹きし続けて、壊れちゃうんだなあって。

でも、良いですよね。女の子が女の子として絶望する姿、

無様で、かわいくて、好きです、私。

あっ…。まって…。引っ張られて…。

ああっ…。いた、い……。

ちぎれちゃう。クリちぎれちゃう。

むり、むり、むりむりむり。

そんな、まだひっぱるとか、おかしい。だめだめだめ……。

【位置：左耳側のセンチ】

【ここから囁き（有声音）】

【同様に喘ぎメインなので、そんな囁きは意識しなくていいです】

あ…。あ…。んあっ…。

あ、このまま、このままバイブ、来ますね。

張り詰めたクリを、ギターの弦みたい、振動させるつもりです。

あ、もう、あた…

んあっ。んああああっ。

むりむりむりむり　いくいくいくいくううう。

はあ、はあ、はあ、はあ、

ふう、ふう、ふう、ふう。

あ、あ、あああああ、

んっ、あっ、はあ、はあ。

せ…、せん、ぱ、い、

あ、あ、んあっ、あ、

ねてて、いい、です…よ、んあああっ、

ふー。ふー。はあ、はあ。

あと三時間も、ある、ので。

あ、あああああ、はあ…

私の、イキ声聞きながら、ねて、て、ください。

あふっ、ふー、はあ、はあ、あ、

ええ、助けたら、フっちゃいます…、

あ、あ、イくイく、無理、もう潮でない。

イキたくない、イきたく、あ、あ。お、お…。

……。

はあ、はあ、はあ、はあ…。

…はい。おやすみです、
せんぱ。

あ、ああつ。ふう、はあ、はあ、はあ。
ふう、ふう、ふう、ふう。

あ、んあつ、あつ、あつ、
あふうう、ふつ、あつ、あつ
んっ、んあつ、あつ、あつ、

ああ…。あ…。あ…。

い。あ、あふつ。んああつ。

イクイクイクぐうううううう。

(フェードアウト)

トラック8…添い寝(純愛?)

【正面30センチ】

【演技…ちよっと疲れた様子で(ちよっとでいいです)】

はい。飲みました。

ありがとうございます。先輩。

いや、ひどい気分ですよ。

体中痛いし、頭もガンガンするし……。

あれだけイけば当然ですけど。

こういうプレイは、余り頻繁にはできませんね…。

少し…。横になってもいいですか？
ん…。

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

あの、先輩。隣、寝てください。

私の喘ぎ声がうるさくて、先輩も寝れなかったですよ。
一緒に寝ましょうよ。

【「ぎゅー」で、左耳側15センチから左耳側5センチへ近づく】

ぎゅーう。

ん。先輩の体、温かいです。

抱き枕として、良い感じですね。ふふふっ。

すう…。ふう…。

すう…。ふう…。(呼吸音2回)

はい。おやすみなさいです。先輩。

【演技：ゆったりとリラックスした感じ】

【呼吸音、20秒】

（これは寝息ですが、

鼻呼吸だとマイクが拾いにくいので、普通に口で呼吸音下さい）

ねー先輩。

何か私に、お願いごととか、ありますか？

いえ、今日まで随分、

私の性癖に付き合ってもらったじゃないですかあ。

そのお返しでもと、思いました。

これでも私、いつも無理言って悪いなど、思って足りるんですよ？

あはは…。

…：はあ。なるほど。そう来ましたか。

良いですよ。

じゃあ、

私が先輩のこと、どう思ってるか。教えてあげます。

えーっとですね。

私は先輩のこと、ダメ人間だなんて、思ってます。

ええ。私みたいな、ヤバい女の子を好きなる、ダメ人間。趣味悪いですよ？ ホント。ふふふっ。

【呼吸音、20秒】

…：ふふん。分かってますよ。

先輩が聞きたいのは、そういうのじゃないですよ。

私が先輩のこと、好きなのかどうか。

それが知りたいんでしょう？

……じゃあ、先に先輩の予想を、聞かせてください。

私は先輩が、好きなのか、そうでもないのか。

どっちだと思います？

おやおや、強気ですねえ。

根拠はあるんですか？

へえ、セックス中、好きって言ってたんですか。私。

イキすぎて、あんまり記憶が無いですねえ。

先輩の幻聴じゃないですかあ？ ふふふ。

ん……。答え？

答えは、そうですねえ……。

眠いので、起きて覚えてたら、教えてあげます……。

【呼吸音、20秒】

【演技：少し眠くなってくる】

ん……。あの。

体痛いので、あんまり揺すらないでください。

DVですよ、DV。

まあそういうのも、エロくていいなと思いますけども……。

あー。はいはい。分かりましたよお。

私が先輩を好きかどうか。教えてあげますって。

メンヘラちゃんですねえ、まったくもう。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（無声音）】

はい、じゃあ言います。
好き好き大好き。先輩しゅき。
これで良いです？

【囁き終了】

【位置…左耳側5センチ】

雑じゃないですよ。文句が多いですねえ。
あんま文句ばかりだと、フっちゃいますよ？
黙って下さーい。ふふっ……。

【呼吸音、20秒】

あの、先輩…。

手、貸してください。
ふふっ。ありがとうございます。
じゃあ、かしゅん……っと。

えへへ……。先輩の手、
手枷でベットに繋いじゃいました。
これで逃げられませんよ……。

いえ、別に。なんとなくですよ。
特に意味はありません。

【呼吸音、20秒】

【演技…だいぶ眠い状態】

ん……。なんか、嬉しそうな顔してますねえ。
拘束されて喜ぶとか、変態ですか？
……ですね。

私が言う事では無いですね……。
じゃあ……。ついでにこのまま、先輩も経験してみます？
私みたいに、イキ地獄を……。

ふふっ。冗談ですよ。
さすがの私も、そんな体力は残ってなくて…
今は、やめておきます。
ええ、今は。

【呼吸音、20秒】

【演技…半分眠ってて、ろれつも回らない感じ】

ん……。ねむい……。
寝て起きたら、筋肉痛かなあ……。うう……。
…でも、先輩に与えられた痛みだから、悪くはないか……
あはは。

【呼吸音30秒】

せんぱい……。
これからも、私のえっちに、付き合ってくださいね……
じゃないと……。ふふふっ……。

【呼吸音10秒（フェードアウト）】